

「フランス第五共和制の〈アノマリー〉としての2017年大統領選」

吉田徹（北海道大学/EHESS）

yoshidat@juris.hokudai.ac.jp

a/noma/a/ly

n. 1. something that deviates from what is standard, normal or expected.

2. *Astronomy* the angular distance of a planet or satellite from its last perihelion or perigee.

(Oxford English Dictionary)

0.はじめに

- * 欧州選挙イヤーと「権力空白」の回避
 - * 「グローバルなポピュリスト・ドミノ」の打ち止め？
 - * 欧州統合の再起動の前提条件
- …もっとも完成しない「マクロン政権」

【表1】選挙結果（4/23 および 5/7）

	第一回投票		決選投票	
	票数	相対得票数 (%)	票数	相対得票数 (%)
有権者数	47 582 183	100%	47 568 693	100%
棄権	10 578 455	22.23%	12 101 366	25.44%
投票者数	37 003 728	77.77%	35 467 327	74.56%
白票	659 997	1.78%	3 021 433	8.52%
無効票	289 337	0.77%	1 064 225	3.00%
投票率	36 054 394	97.45%	31 381 603	88.48%
候補者	票数	相対得票数 (%)	票数	相対得票数 (%)
マクロン (EM)	8 656 346	24.01	20 743 128	66.10
ルペン (FN)	7 678 491	21.30	10 638 475	33.90
フィヨン(LR)	7 212 995	20.01		
メランション (FI)	7 059 951	19.58		
アモン (社)	2 291 288	6.36		
デュポンテニヤン (DF)	1 695 000	4.70		
ラサール (R)	435 301	1.21		
プトゥ (NPA)	394 505	1.09		
アスリノ (UPR)	332 547	0.92		
アルトー (LO)	232 384	0.64		
シュミナド (SP)	65 586	0.18		

【出典】仏内務省

1. 5+αのアノマリー

- ①現職大統領の不出馬（史上最低の支持率）
- ②保革二大政党での公開予備選での番狂わせ（両極化の進展）
- ③保革二大政党の第一回投票進出ならず（54.2%から26.4%へ）
- ④実質的な1回投票制への変容（ルペンを落とす選挙）
- ⑤棄権票と白票の多さ（『PRARF』の健在）
- ⑥下院選（6/11-18）

シナリオ（1）EMPR（マクロン派）多数

// （2）LR（共和派）多数

// （3）連立政権

// （4）ハングパーラメント

* 「マクロンに多数派を与えるべきか」 ノン 61% <—> ウイ 39% [IPSOS5/7 調査]

* 「第五共和制の弱点は首相にある」（ド・ゴール）

2. エマニュエル・マクロンとは誰なのか？

* 「平等主義的リベラリズム」の系譜（Dumitru 2017）

* 「グローバリズムと個人主義の妥協の産物」（Gauchet 2017）

=> 文化リベラル×経済リベラル

【表2】公約「新しいフランスを作るために我々の開拓の精神を再発見する」

アンチダンピング対策強化、EU 協定における税・社会基準の設定、EU 社会政策の調和、ユーロ債の発行、戦略産業における外資規制、カナダとの FTA 維持、貿易協定の運用監視、中国との包括協定、市民会議による EU 新プロジェクト、EU 財政と経済相設置、域内派遣労働の見直し、大 IT 企業徴収強化、2022 年までに財政黒字化、EU での諜報情報共有、イスラム原理主義者の禁固、医療保険国庫負担の見直し、公務員数削減、租税負担の低下、法人税・所得税引下げ、労働時間再編成、失業保険手当見直し、刑務所収容能力拡大、治安要員の増加、減刑の禁止、生体認証による ID、監視カメラ増強、刑罰訴訟の時限化、EU 司法協力強化、第 1 審判の各県附置、軽犯罪罰則の厳格運営、NPO 設立支援、図書館開館時間拡大、欧州版 NETFLIX 創設、定年年齢の柔軟化、厚生年金制度再編成、初等教育の自由化・強化、中等教育までの携帯電話持参禁止、大学自治・機能強化、文部科学予算の圧縮禁止、職業教育の拡充・強化、短期兵役の導入、県の部廃止、若者向け文化クーポン配布、政治活動規制、先端技術への投資、国連安保理常任理事国の拡大、ODA の GDP 比 0.7% 引上げ、公職への男女同数登用、パリテの実質化、産休の平等、海外県への投資強化、オリンピック・ゲイゲームス招致、高齢者介護従事者の育成、遠隔医療の拡充、在宅介護の拡充、宗教についての知識普及、攻撃的カルトの廃止、イスラム団体の統合、政教分離担当官の設置、移民の統合政策拡充、経済的移民の定義明確化、難民認定却下対象者の本国移送、難民認定期間の短縮、帰化での仏語能力条件化、FRONTEX

強化、身体障害者支援の拡充、生殖補助医療の要件緩和、低排ガス車購入支援、欧州単一エネルギー市場創成、石炭火力発電所閉鎖、シェールガス発掘禁止、再生エネ支援、原発依存低下、短期汚染対策強化、デジタル情報バンク創設、100億ユーロの投資基金、労使協約の拡大、労組の統廃合、公共部門のデジタル化推進、老齢最低年金引上げ、失業保険の拡大と給付条件化、失業率7%引下げ、**CAP改革**、環境農業支援、就農支援、インフラ修繕、AI 国家戦略、光ファイバー完備、欧州単一デジタル市場、公営住宅増設、所得税の個人化、金融資産一律課税、資産税の不動産限定、議員定数 3/1 削減、議員歳費課税、外国人の地方参政権の禁止、比例制の部分導入

* 脆弱なリーダーシップ基盤：

「2割民意」／ルペンを落とすための捨て駒／（ほぼ）唯一の（熱心な）親 EU

* 「敢えて」の政治家

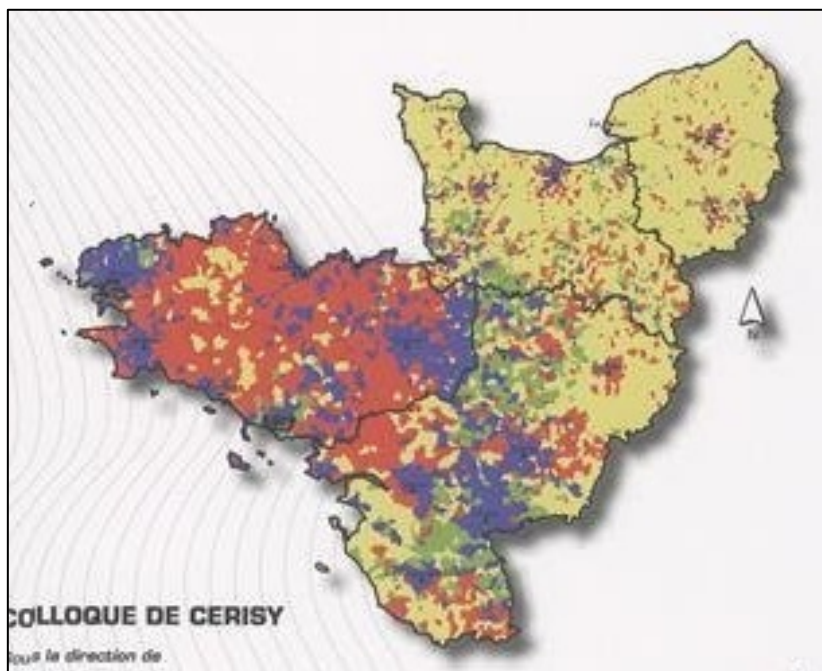
3. 新たな「2つのフランス」の対立軸？

* 「閉じた社会」 vs 「開かれた社会」／「ポピュリズム」 vs. 「リベラリズム」／「グローバル化の勝者」 vs 「グローバル化の敗者」

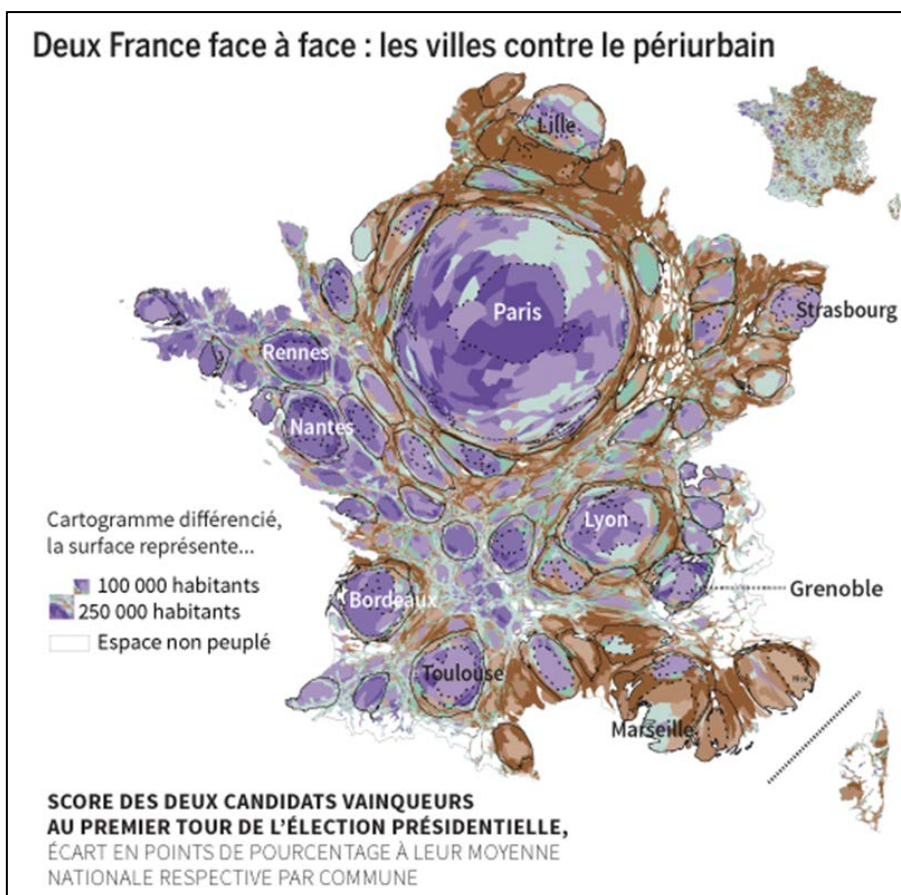
%	マクロン支持者	ルペン支持者
年齢		
18-24	31	15
25-34	28	24
35-49	21	27
50-64	22	29
65+	24	16
職業		
管理職・専門職	33	8
事務職	25	19
一般従業員	21	27
労働者	16	48
年金生活者	25	18
2012年投票先		
メロンシヨン	9	5
オランダ	48	7
バイルー	15	2
サルコジ	18	13
ルペン	2	81

[ELABE 04/17 調査]

【表 3】 1913 年のフランス (Andre Siegfried, *Le Tableau politique de la France de l'Ouest*)



【表 4】 2017 年のフランス (Herbe Le Bras による選挙地図)



〔出典 : Le Monde, 26 Avril 2017〕

* 「左右」ではなく「上下」対立の生成

1996年リヨン・サミット：「グローバル化の光と影」

2005年 EU 憲法条約国民投票：「周縁のフランス (France périphérique)」 (Guilly2013)

2017年選挙：「リベラル／グローバル／個人」 vs. 「権威／ナショナル／共同体」の対立軸

* 工業社会の政治構造からポスト工業社会の政治へ？

「進歩派 vs ナショナリスト」 (マクロン) 「グローバル主義者 vs 愛国者」 (ルペン)

具体的には「戦後社民コンセンサス」 (社会保障、年金制度、安全保障化) vs 「個人リベラリズム」 (個人主義、能力志向、制度ポータビリティ) の対立？

* 属性・所得・世代・階層横断的な「2つの世界」の格差であることの憂鬱 [IFOP 調査]

「フランスの未来はどちらか」といふと明るい マクロン支持者 71%、ルペン支持者 28%

「グローバル化は雇用に悪影響か」 マクロン支持者 15%、ルペン支持者 53%

「保護主義は失業率を下げるか」 マクロン支持者 22%、ルペン支持者 76%

「世界に対して開かれるべきか」 マクロン支持者 58%、ルペン支持者 21%

cf 「次世代の状況について」 トランプ投票者「より悪い (63%)」 vs

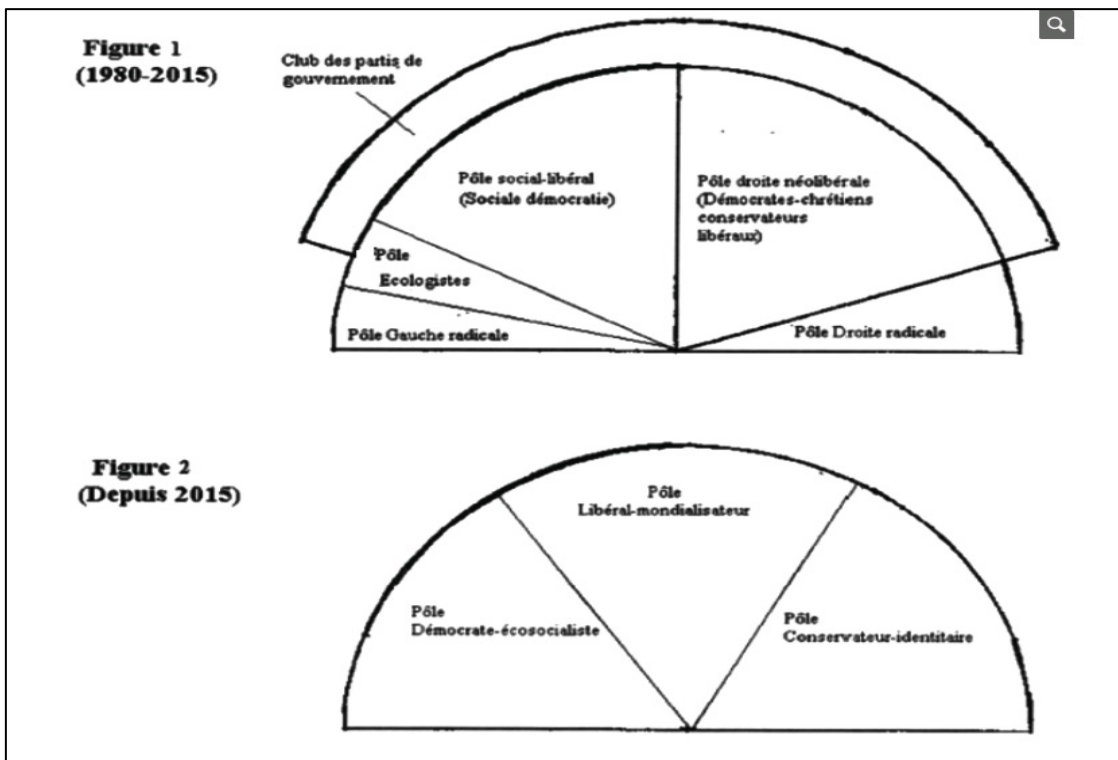
クリントン投票者「より良い (59%)」

* 製造業の衰退と産業空洞化によって戦後民主主義を支えた中間層の空中分解と再編

* 「非リベラルな民主主義と非民主的なリベラリズム」の台頭 (Mounk 2016)

* 「自国文化／グローバル化」軸 + 「反グローバル化／新自由主義」軸 = 「社民エコの極」 + 自由主義グローバル化の極 + 保守自国文化の極 の再編へ？ (Martin 2017)

【表5】(先進国) 政治の再編による新たなアノマリー (角距離) ?



4.今後の展望

*首相任命（5/15）と5/17組閣（5/17）

首相（LR）＋ LR2名、社会党4名、中道3名、政治家外8名

EMPR51選挙区で候補者立てず…政界再編狙い

Opinion Way 予測（5/18）：

EMPR 280-300議席 PR-UDI 150-170議席 社会党 40-50議席、FI-共産党 20-25議席、
FN 10-15議席

*5/15の独仏会談

派遣労働の問題で合意、デジタル経済、税制、防衛、教育で協力強化の方針

ユーロ圏の財政統合含む条約改正は今後の交渉課題

（以 上）